

平成 17 年度当初予算 重点プログラム別概要

元気 4 : 戦略的な企業誘致推進プログラム

(主担当部局 : 農水商工部)

(1) 企業立地促進補助事業

< プログラムの事業費 >

(単位 : 千円)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	3 か年計
当初計画	74,366	37,000		111,000 程度
見直し後	96,467	36,667		133,134

注 : 見直し後の 16 年度は現計予算額、17 年度は予算要求額、18 年度は同見込額

< 事業目標の見込み >

目標項目		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度
(1) 立地企業新規雇用見込者数 (累計)	目標値	700 人	1,225 人	1,750 人
	実績値	800 人		

< 進捗状況 (現状と課題) >

国内経済の回復に伴い高まった企業の設備投資意欲は、全国の工場立地件数の推移からも見られるとおり、順調に推移しています。これにより各自治体は、新たな企業立地を導き、地域の活性化に繋げるチャンスに恵まれる一方、企業が設備投資と並行して国内生産施設の統合・拠点化を進めるなか、既存の事業所を失って地域の空洞化を招きかねないというピンチに直面しています。

このことから、重点プログラムとして従来の補助制度を拡充し、インセンティブを強化して企業誘致に取り組んだところ、11 月末時点で 2 社に対して補助金交付の前提となる立地計画の認定を行っており、今年度中にあと数社に対して立地計画の認定を行う見込みです。

< 平成 17 年度の取組方向 >

戦略的な誘致および誘置活動を進めて短期間により多くの企業立地を誘導するため、支援制度などを充実させて取組を強化したところ、補助対象となるクリスタルバレーやメディカルバレー構想関連業種において目に見える成果が生みだされてきていることから、この好機を逃すことなく、さらにバレー構想を軸とした企業誘致を推進するとともに、県内関連企業の支援を強化し、設備投資を促進します。

バレー構想 : 県内の産業集積や大学、研究機関等のネットワークを生かし、市場の拡大が予想される特定産業のさらなる集積・発展を図ることで、本県の産業構造を強靱なものにしようとする

産業政策。クリスタルバレー構想は液晶をはじめとするフラットパネルディスプレイ産業、メディカルバレー構想は医療・健康・福祉関連産業の集積をめざす。

< 主な予算要求事業 >

企業立地促進補助事業【17年度事業費 36,667千円】

バレー構想関連産業等の将来的な成長が期待される分野に属する製造施設や研究開発施設の新増設に対して補助を行い、県内への立地や設備投資を誘導します。